

第 43 回 廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会
テーマ「脱炭素—廃プラスチックリサイクルについて考える」

■開催日時 2022（令和4）年 11 月 8 日（火） 13 時～16 時

■参加費用 会員 3,300 円（税込）、非会員 6,600 円（税込）

■定 員 100 名

■開催方法 Web 方式（ZOOM）

■企画趣旨

2022（令和4）年4月に新法「プラスチック資源循環法」が施行し、プラスチック製品のリサイクル促進策が打ち出されました。プラスチック製容器包装をリユース、リサイクルできる設計とすること、再生材の利用を増やすことなど、廃プラスチックをいかに資源として回収し再資源化（リサイクル）を進めるか等が重視されています。一方で、排出抑制対策として使い捨てプラスチック製品の削減やバイオプラスチックの導入が打ち出されました。

本集会では技術管理者が大きく関わる、回収された後の廃プラスチックのリサイクル技術の現状と課題を取り上げ、今後の動向について考えることとします。

■プログラム（予定）

30 分/演題

12:00—13:00	受付（接続承認）
13:00—13:10	主催者挨拶
13:10—13:40	講演 1. プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について 環境省 環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室
13:40—14:10	講演 2. プラスチックリサイクルの現状と課題 —マテリアルリサイクル・ケミカルリサイクル・RPF 等 八尾 滋（福岡大学工学部 教授）
14:10—14:40	講演 3. テラヘルツ波を利用した廃プラ選別技術のポテンシャル —既存の選別技術との比較を踏まえて— 劉 庭秀（東北大学 教授）
14:40—14:50	休憩（10 分）
14:50—15:20	講演 4. プラスチックから炭酸ガスとアンモニアを再生（事例） 栗山 常吉（昭和電工株式会社 川崎事業所 室長）
15:20—15:50	講演 5. 姫路市における PET ボトルの水平リサイクルの取組みについて 姫路市環境局リサイクル課
15:50—16:00	閉会挨拶・連絡

*プログラムは、変更する場合があります。ご了承ください。